

PROGRAM

ジャンヌ・イ・ポール  
オブリヴィオン  
ブエノスアイレスの冬  
孤独  
リベルタンゴ  
愛の讃歌  
エマニュエル  
七つのスペイン民謡 より

ほか

IKUKO KAWAI

シンフォニックコンサート 2024

川井郁子

Passion in Blue  
～情熱のヴァイオリン～

[共演] 鈴木崇朗 (Bn) 林 正樹 (Pf) 宮田雄規 (Cb) 天野清継 (Gt)

2024 3.22 (金) 19:00開演 (18:00開場)

S席 6,500円 A席 5,000円(税込) 主催: ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド

■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード: 52741]  
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 249-378]

\*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。\*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。\*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

# 川井郁子 IKUKO KAWAI

シンフォニックコンサート 2024

## Passion in Blue ～情熱のヴァイオリン～

「シンフォニック・コンサート」は、不動の人気を誇る川井郁子が、2017年からザ・シンフォニーホールで行なう注目のシリーズ。近年のこのシリーズでは、初めての弾き振りをしたり、和洋楽器によるオーケストラとともに映像もとり入れた舞台を繰り広げたりと、さまざまな角度からコンサートをエネルギッシュに作り上げている。2024年も3月の開催が決定した。タイトルは、川井のオリジナル曲の名前を冠とした「Passion in Blue～情熱のヴァイオリン」。今回は《ブエノスアイレスの冬》や《リベル・タンゴ》など、“タンゴの革命児”ピアソラの作品をはじめ、ファリャ《7つのスペイン民謡》より、そしてシャンソン《愛の讃歌》などの作品の曲に秘められた情熱を、川井は大胆に引き出していく。“情熱”のヴァイオリニスト、川井はこれらの作品の魅力をも十分に披露し、同時に彼女ならではの新鮮さを加味する。そして、雄弁な説得力をもって聴く者に語り尽してくれることだろう。

道下 京子

### 川井郁子 [ヴァイオリン]

香川県出身。東京芸術大学卒業。同大学院修了。現在大阪芸術大学教授。国内外の主要オーケストラをはじめ、世界的コンダクター・ジョン・ミュンフンや世界的テノール歌手ホセ・カレーラスなどと共演。さらにジャンルを超えてジプシーキングス等のポップス系アーティスト、バレエ・ダンサーの熊川哲也、フィギュアスケートの荒川静香らとも共演している。ニューヨークのカーネギーホールや、パリ・オペラ座、ワシントンD.C.で全米さくら祭りへの出演、中国・西安にて日中平和友好条約締結40周年記念イベント開幕式コンサートに出演するなど国内外で活躍。作曲家としてもジャンルを超えた音楽作りに才能を発揮。TVやCM等、映像音楽の作曲も手がける。フィギュアスケートでは羽生結弦選手や荒川静香選手、ミシェル・クワン選手等、国内外の選手に楽曲が数多く使用されている。第36回日本アカデミー賞で最優秀音楽賞を受賞。また、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の紀行のテーマを担当。CDデビュー20周年記念として、2021年に新国立劇場で音楽舞台「月に抱かれた日」、2022年に和洋混合オーケストラ「響」を結成し、オーチャードホールにてコンサートを行い、各方面より絶賛された。社会的活動として「川井郁子マザーハンド基金」を設立。また全日本社寺観光連盟親善大使、国連UNHCR難民サポーターを務める。2023年3月にオーケストラ響のデビューアルバム「響」を発売。9月にはNYリンカーンセンターでオーケストラ響として初の海外公演を行い、現地の方々から大絶賛された。

使用楽器：ストラディヴァリウス(1715年製 大阪芸術大学所蔵)

